

令和3年度 第71次 印旛地区教育研修会 安全教育分科会（紙上提案資料）

1. 研究主題

安全な登下校をするためには、どうしたらよいか。

2. 主題設定の理由

佐倉市立南部中学校は、佐倉市南部のとても広い学区を持つ学校で、全校生徒の約98.5%が自転車通学者（自転車登録者197/200）である。さらに国道51号線沿いに学校があることから、交通量が多く交通安全の確保は本校の大きな課題である。学校では、掲示物を使ったり、定期的に登下校の安全指導を行っている。また、この地域は、河川や山林もあり、それに伴う災害も心配である。数年の間に大雨・大雪・台風などにより、停電・断水・倒木のような災害が起こっている。そこで、安全意識をさらに高め、安心して学校生活を送っていく資質能力の育成のため、本主題を設定した。

3. 研究仮説

交通ルールやマナー及び災害について、継続的な指導を行い、考えさせれば生徒の安全意識が高まり、危機意識や危険回避能力を身につけることができ、学校生活を安心しておくことができるであろう。

- ・学校生活の中で自分の命は自分で守ることができるようにする。
- ・電光掲示板や掲示物、自転車点検、交通安全教室などを通して、安全の意識を高める。
- ・登下校指導を定期的に行い、ルールやマナーをしっかり身に付けさせる。

4. 研究の内容

【災害に強くなるための取り組み】

- ①学校では、学期ごと非常食を個別に用意している。
南部中学校では、学期に一回、非常食を更新している。（古いものは試食し、新しいものを家庭で用意する。）
大雪や大雨や台風など、南部中は災害にとても弱いので、万が一に備え非常食を用意している。自助意識を高めることを意識している。
 - ②年3回避難訓練（火災・地震・不審者対応）、地区集会（地区別の危険個所の確認など）を行っている。
危険を回避し、どんな時も冷静に対応している。また、危険個所の確認を、地区集会で、登下校の安全を図っている。
 - ③地区の状況を知る。
定期的な登下校指導等を通して、それぞれの地区の現状（通学路と危険箇所の把握）を知って、安全指導に役立っている。
- ### 【安全に登下校するための取り組み】
- ④4月に、1年生を対象に交通安全教室を教育委員会主催で自転車のルールや乗り方について指導している。全校の生徒の98.5%が自転車通学者のため、日ごろから交通ルールや交通安全を繰り返し指導している。交通量が多い通学路を登校して来るが、1年生はまだ慣れていないので、教育委員会主催の交通安全教室を行っている。
 - ⑤新学期始めや定期テスト時に、教職員で登下校時に交通安全指導を行い、さらに、定期的に自転車点検を行っている。また、より良い交通安全指導を行うために、教職員からアンケートをとり、次の交通安全指導に生かしている。
 - ⑥電光掲示板や、掲示物などで、交通安全の注意喚起を常に図っている。

5. 成果と課題

【成果】

登下校時の交通ルールをしっかりと守るという意識が全校のほとんどの生徒が高まった。特に交通量の多い交差点や、見通しのきかない交差点など、慎重に一人一人が通行できていた。

【課題】

- ・通学路では、見通しのきかない場所、砂利の場所、歩道が狭い場所などがあり、危険な場所が多い。また、通学路を知らせる標識などまだまだ少ないのが現状であるため、さらに生徒への安全の啓発を進めていかなければならない。

【まとめ】

本校の取り組みは、確実に成果を上げている。今後も継続して安全教育を進めていき、生徒の安全を確保したい。それと同時に、安心安全の意識を一人一人がもって、さらに高めることができるよう努力していきたい。